



はれるんマガジン

～気象・地震に関わる素朴な疑問に答えます～ 発行：福岡管区気象台

今月のテーマ

令和8年5月下旬から防災気象情報が大きく変わります！

- Part01 これからの警報・注意報 -



新しい防災気象情報の運用が始まります！

気象庁が発表する警報や注意報等の防災気象情報は、住民に避難などを呼びかける5段階の「警戒レベル」と密接につながっています。しかし現在は、警報などの名称から警戒レベルがイメージしにくいことに加え、同じ「〇〇特別警報」に警戒レベル5と4の情報があったり、警戒レベルに相当する警報等がない場合があるなど、分かりにくい点が課題でした。

そのため、有識者や関係省庁による「防災気象情報に関する検討会」において、シンプルでわかりやすい防災気象情報の再構築に向けた議論が行われ、令和6年6月に提言がまとめられました。この提言を踏まえ、令和8年5月下旬から新しい防災気象情報の運用が始まります。本号では、全4回でお届けする「新しい防災気象情報」シリーズの第1回として、新しい警報・注意報のポイントを紹介します。



新しい警報や注意報について

新しい警報や注意報は、大雨による浸水や土砂災害などを対象に、5段階すべての警戒レベルに対応する情報に変わります。下の図のとおり、警戒レベルの高い順に、「特別警報」、「危険警報」、「警報」、「注意報」、「早期注意情報」とし、レベル・災害名・情報名をセットにしたものが正式な名称になります。

情報名称に警戒レベルが加わることで、災害の危険がどれくらい差し迫っているかが直感的に伝わり、住民の皆様にとって避難の判断をしやすくなることが期待されます。

	河川氾濫	大 雨	土砂災害	高 潮
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
— 警戒レベル4までに危険な場所から 必ず避難 —				
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル 1	早期注意情報			

新しくなる警報や注意報と警戒レベルとの関係

■ 各災害に対応した新しい警報や注意報の詳細



大きな河川の氾濫

気象庁が国や県と共同で洪水予報を実施している大きな河川※では、氾濫への注意を呼びかける情報として、河川ごとにレベル2 氾濫注意報・レベル3 氾濫警報…を発表し、氾濫が確認された場合にレベル5 氾濫特別警報を発表します。

※福岡県内では、遠賀川、彦山川、御笠川、筑後川、矢部川、山国川が対象



大雨による浸水や、中小河川の氾濫

大雨による低い土地の浸水や、中小河川（上述の大きな河川を除く）の氾濫への注意を呼びかける情報として、レベル2 大雨注意報・レベル3 大雨警報…を発表します。今回の変更で、従来の洪水注意報や洪水警報の発表はなくなります。



土砂災害

大雨によるがけ崩れや土石流などへの注意を呼びかける情報として、レベル2 土砂災害注意報・レベル3 土砂災害警報…を発表します。従来の土砂災害警戒情報は、レベル4 土砂災害危険警報に変わります。



高潮

高潮による浸水が予想される場合に、避難に必要な時間を考えて段階的に、レベル2 高潮注意報・レベル3 高潮警報・レベル4 高潮危険警報を発表し、さらに大きな被害が予想される場合にレベル5 高潮特別警報を発表します。

（イラストは生成AIを利用して作成しています）



警戒レベルって？



災害時にとるべき避難行動が直感的にわかるよう、避難情報等を5段階のレベルに整理したものです。どのくらい危険かを数字と色で表現します。

警戒レベル	避難情報	とるべき行動
5	緊急安全確保	命の危険、直ちに安全確保！
4	避難指示	危険な場所から全員避難
3	高齢者等避難	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
2		避難行動を確認(避難場所や避難ルート、タイミングなど)
1		災害への心構えを高める



新たな防災気象情報の特設ページを確認しよう！

今回の防災気象情報の改善を多くの方に知っていただくため、気象庁ホームページに特設ページを用意しました（<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/keiho-update2026/index.html>）。このページでは、情報改善のさらに詳しい説明や、子ども向けや防災気象情報を活用する組織向けのリーフレットなど、様々な情報を掲載しています。ぜひご活用ください。



特設ページに掲載しているリーフレットの一例

次号は、新しい時系列情報と気象防災速報について説明します。

ご意見・ご感想をお待ちしています

問合せ先

〒810-0052 福岡市中央区大濠1-2-36

福岡管区気象台地域防災推進課はれるんマガジン編集部

電話：092-725-3614

e-mail：fukuoka_bousaichosa@met.kishou.go.jp



気象の警報などが大きく変わります

次回の発行は2026年3月の予定です。